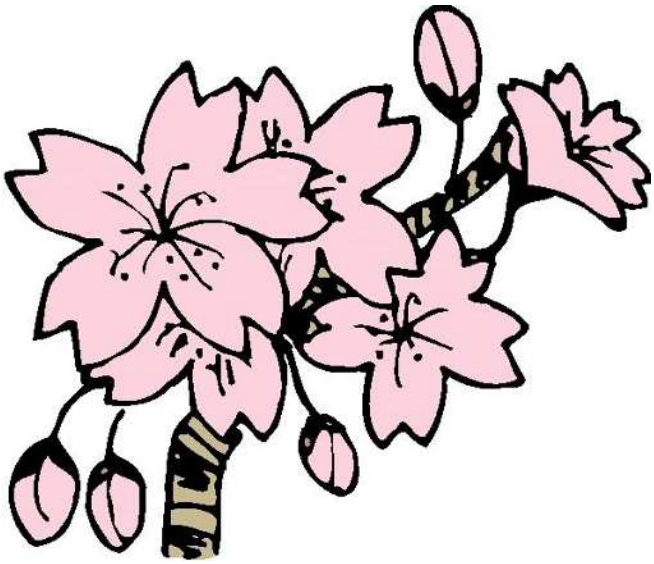
令和４年度

石狩管内社会教育委員連絡協議会

総　会



日 時　　令和４年４月２０日（水）
　　14 時 30 分～
会 場　　江別市野幌公民館

【事務局：江別市教育委員会生涯学習課】

～ 次　　第 ～

1　開　　会

2　主催者挨拶　　石狩管内社会教育委員連絡協議会会長 髙木　玲子

3　来 賓 挨 拶　　北海道教育庁石狩教育局長 田中　賢一　様

4　議 長 選 出

5　議　　事　　報告第１号　令和３年度 事業報告
報告第２号　令和３年度 収支決算報告
報告第３号　令和３年度 会計監査報告

議案第１号　令和４年度 活動方針（案）
議案第２号　令和４年度 事業計画（案）
議案第３号　令和４年度 収支予算（案）
議案第４号　役員改選（案）

6　議 長 退 任

7　そ　の　他

8　閉　　会

◇情報提供：石狩教育局教育支援課 社会教育指導班 主査　久末　考勇　様
社会教育主事　小田島　美雪　様

≪報告第１号≫

令和３年度　事業報告

１　北海道社会教育委員連絡協議会通常総会
日時：令和３年４月１６日（金）
内容：令和２年度事業報告、収支決算報告、監査報告
　　令和３年度活動方針（案）、事業計画（案）、収支予算（案）

２　石狩管内社会教育委員連絡協議会総会
日時：令和３年４月２０日（火）
内容：令和２年度事業報告、収支決算報告、監査報告
　　令和３年度活動方針（案）、事業計画（案）、収支予算（案）

３　第４１回北海道市町村社会教育委員長等研修会
日時：令和３年７月９日（金）
会場：かでる２・７
※新型コロナウイルスの影響により中止

４　石狩管内市町村社会教育委員等研修会（開催地：江別市）
日時：令和３年１１月２０日（土）※フォーラム石狩と共催で開催
会場：江別市民会館
内容：
①パネルトーク
テーマ「コロナ禍における子どもたちのコミュニケーションの現状・これからの課題」
パネリスト　学校：石狩管内小中学校教頭会　玉腰　武　氏
　　家庭：江別市ＰＴＡ連合会　会長　粟野　晋太郎　氏
　　地域：石狩管内社会教育委員連絡協議会　会長　髙木　玲子　氏
コーディネーター　石狩管内小中学校教頭会　月居　忠文　氏
②協議
パネルトークで出された話題を受けて、課題解決のためにそれぞれの立場でできることなどについて、グループに分かれて協議。

５　第６０回北海道社会教育研究大会（渡島大会）
兼 全国社会教育委員連合北海道ブロック大会（開催地：函館市）
日時：令和３年１０月７日（木）～８日（金）
会場：函館市民会館
※新型コロナウイルスの影響により中止

≪報告第２号≫

令和３年度　収支決算報告

【収入の部】

（単位：円）

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B) － (A)	摘要
繰越金	239,583	239,583	0	
助成金	140,000	85,000	△ 55,000	（道社連協　85,000円） （管内教育委員会協議会　55,000円）
負担金	252,000	255,000	3,000	管内市町村 社会教育委員 @3,000円×85名
雑収入	17	2	△ 15	預金利息
計	631,600	579,585	△ 52,015	

【支出の部】

（単位：円）

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B) － (A)	摘要
事務費	40,000	16,920	△ 23,080	会場使用料、振込手数料、郵送料
研修費	220,000	28,886	△ 191,114	管内研修
負担金	252,000	255,000	3,000	道社連協負担金 @3,000円×85名
参加旅費	15,000	2,820	△ 12,180	道社連総会・理事会　参加旅費
予備費	104,600	0	△ 104,600	
計	631,600	303,626	△ 327,974	

（収入579,585円）－（支出303,626円）＝275,959円（次年度に繰越）

（案）

≪報告第３号≫

令和３年度　会計監査報告

令和３年度会計に係る監査を執行したので、その結果を下記のとおり報告します。

記

１　監査完了期日　　令和４年４月２０日

２　監査の対象　　令和３年度会計

３　監査の結果　　関係帳簿及び書類等につき総合的に審査した結果、適正に処理されていることを認めます。

令和４年４月２０日

石狩管内社会教育委員連絡協議会

監事（千歳市）　　蓬田　恒春　　㊞

監事（北広島市）　本橋　健治　　㊞

≪議案第１号≫

令和４年度　活動方針（案）

新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、私たちの社会と社会教育の在り方が大きく変化しています。

人口減少・過疎化、高齢化、ネット・スマホの普及、グローバル化、地域コミュニティのつながりの希薄化、格差や貧困の拡大が進む中で、地域社会において住民自身の学習を通じて、課題解決を図り、地域づくりをすすめる社会教育の役割がますます重要になっています。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、公民館や図書館、博物館などの社会教育施設は多くの制限を強いられ、また、社会教育事業は中止や延期、規模縮小等が余儀なくされている状況が続いています。皆が集まってともに学ぶという社会教育が大切にしてきたことを実践することが困難な事態に直面しています。

1985 年に採択された「ユネスコ学習権宣言」は、社会教育・生涯学習で学ぶ権利は決して「不要不急」なものとは捉えず、学習権は「未来のためにとっておかれる文化的ぜいたく品ではない。それは、生き残るという問題が解決されてから生じる権利ではない。それは基礎的な欲求が満たされたあとに行使されるようなものではない。（それは）人間の生存にとって不可欠な手段である」と述べたことがあらためて思い起こされます。

2015年９月の国連総会では「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、その中で、2016年から2030年までの国際目標として「持続可能な開発目標（SDGs)」が示されました。ここでは、経済成長、社会的包摂、環境保護を重点に、格差を是正し、貧困を撲滅し、社会的弱者に社会参加の機会を保障する民主的で平和な持続可能な社会をめざすことが国際的なミッションとされ、子どもを重要なパートナーとして位置づけています。学校でも防災学習や環境学習がすすめられています。共生、多様性が尊重され、「想定外」が言い訳とされない未来を築くためには、子どもたちと共に学び、誠実に向き合うことが求められています。コミュニティスクールの取組が広がり、社会教育と学校の連携が重視されるようになり、このことがより重要になっています。

社会教育委員制度は、社会教育行政に地域住民の意見を反映させるために教育委員会の諮問機関として設けられているものです。私たち自身が積極的に学び、地域住民のニーズや地域課題を把握し、社会教育行政に反映させることによって、地域づくりの一翼となる活動を推進していきましょう。

石狩管内社会教育委員連絡協議会の歴史と伝統を引継ぎ、責務の重要性を自覚し、研修機会を積極的に設け、自己研鑽や相互交流を図るなかで、北海道社会教育委員連絡協議会に結集、協働しながら、石狩管内の社会教育の充実と発展を目指して以下のことを今年度の活動方針とします。

〔推進事項〕

１．地域が今どんな課題を抱えているか．そのためにどんな学習が求められているかに関心をもち、自らが積極的に学び、地域住民との対話をすすめ、社会教育の振興、生涯学習の推進に努めます。

２．研修活動や情報交流活動を積極的に行い、社会教育委員としての役割の自覚と資質向上を図るとともに、社会教育関係職員とともに学び、協働しながら、研修成果を地域に還元します。

３．教育委員会との情報の共有に努め、学校教育と社会教育との連携をすすめます。

≪議案第２号≫

令和４年度　事業計画（案）

１　石狩管内社会教育委員連絡協議会 総会

日時：令和４年４月２０日（水）
会場：江別市野幌公民館
内容：令和３年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告
令和４年度活動方針（案）、事業計画（案）、収支予算（案）
役員改選（案）

２　北海道社会教育委員連絡協議会 通常総会

日時：令和４年４月１５日（金）
会場：かでる２・７
内容：令和３年度事業報告、決算報告、会計監査報告
令和４年度活動方針（案）、事業計画（案）、収支予算（案）　など

３　第４２回北海道市町村社会教育委員長等研修会

日時：令和４年７月７日（木）～８日（金）
会場：かでる２・７
主題：「社会教育委員とは」
～社会教育委員の必要性は？期待されていることは？～

４　第６１回北海道社会教育研究大会（留萌大会）兼
全国社会教育委員連合北海道ブロック大会

日時：令和４年１０月１４日（金）
会場：Ｚｏｏｍによるリモート開催
主題：「社会教育がもたらす地域づくり」

５　石狩管内市町村社会教育委員等研修会

日時：未定
会場：当別町
主題：未定（基調講演など）

≪議案第３号≫

令和４年度　収支予算（案）

【収入の部】

（単位：円）

科目	Ｒ３ 予算額(A)	Ｒ４ 予算額(B)	比較増減 (B)－（A)	摘要
繰越金	239,583	275,959	36,376	
助成金	140,000	140,000	0	道社連協　85,000円 管内教育委員会協議会　55,000円
負担金	252,000	255,000	3,000	管内市町村 社会教育委員 @3,000円×85名
雑収入	17	41	24	預金利息　ほか
計	631,600	671,000	39,400	

【支出の部】

（単位：円）

科目	Ｒ３ 予算額(A)	Ｒ４ 予算額(B)	比較増減 (B)－（A)	摘要
事務費	40,000	40,000	0	事務用品、郵便代、振込手数料、会場使用料　等
研修費	220,000	220,000	0	管内研修(当別町)
負担金	252,000	255,000	3,000	道社連協負担金 @3,000円×85名
参加旅費	15,000	15,000	0	道社連総会・理事会　参加旅費
予備費	104,600	141,000	36,400	
計	631,600	671,000	39,400	

≪議案第４号≫

役員の改選（案）

石狩管内社会教育委員連絡協議会規約第７条により、次のとおり役員を改選いたしたく承認を求めます。

（別表「役員・研修会場等の割当表参照）

（令和４・５年度　役員）

会　長	（当別町社会教育委員長）	浜上　尚也	氏
副会長	（千歳市社会教育委員の会議　委員長）	蓬田　恒春	氏
監　事	（北広島市社会教育委員の会議　委員長）	本橋　健治	氏
監　事	（恵庭市社会教育委員の会議　委員長）	松田　一則	氏

（令和２・３年度　役員）

会　長	（江別市社会教育委員の会議　委員長）	髙木　玲子	氏
副会長	（当別町社会教育委員長）	浜上　尚也	氏
監　事	（千歳市社会教育委員の会議 委員長）	蓬田　恒春	氏
監　事	（北広島市社会教育委員の会議　委員長）	本橋　健治	氏

役員・研修会場等の割当表

年度	会　長 （事務局）	副会長	監　事	研修会場	備　　考
平成26	恵庭市	新篠津村	石狩市	当別町	道社連協理事：恵庭市 道社連協評議員：新篠津村・石狩市
27			江別市	石狩市	
28	新篠津村	石狩市	江別市	江別市	道社連協理事：新篠津村 道社連協評議員：石狩市・江別市
29			当別町	北広島市	
30	石狩市	江別市	当別町	恵庭市	道社連協理事：石狩市 道社連協評議員：江別市・当別町
31			千歳市	千歳市	
令和2	江別市	当別町	千歳市	新篠津村（中止）	道社連協理事：江別市 道社連協評議員：当別町・千歳市
3			北広島市	新篠津村	
4	**当別町**	**千歳市**	**北広島市**	**当別町**	**道社連協理事：当別町** **道社連協評議員：千歳市・北広島市**
5			**恵庭市**	石狩市	
6	千歳市	北広島市	恵庭市	江別市	道社連協理事：千歳市 道社連協評議員：北広島市・恵庭市
7			新篠津村	北広島市	
8	北広島市	恵庭市	新篠津村	恵庭市	道社連協理事：北広島市 道社連協評議員：恵庭市・新篠津村
9			石狩市	千歳市	
10	恵庭市	新篠津村	石狩市	新篠津村	道社連協理事：恵庭市 道社連協評議員：新篠津村・石狩市
11			江別市	当別町	
12	新篠津村	石狩市	江別市	石狩市	道社連協理事：新篠津村 道社連協評議員：石狩市・江別市
13			当別町	江別市	

※　年度の会長職は、道社連協理事となる。

※　年度の副会長職及び上段の監事職は、道社連協評議員となる。

石狩管内社会教育委員連絡協議会　総会出席者名簿

市町村名	氏　名	所　属	石社連　役職
江別市	髙木　玲子	委員長	会長
	田中　紀克	生涯学習課	
	佐藤　愛子	生涯学習課	
	中田　稜子	生涯学習課	
千歳市	蓬田　恒春	委員長	監事
恵庭市	松田　一則	委員長	
	桑原　一徳	社会教育課	
	中村　聖	社会教育課	
北広島市	本橋　健治	委員長	監事
	古内　誠也	社会教育課	
石狩市	木村　純	委員長	
	薩來　翔希	社会教育課	
新篠津村	佐藤　千佳	生涯学習委員長	
	本田　真士	社会教育係	
当別町	浜上　尚也	委員長	副会長
	下村　兼生	社会教育課	
石狩教育局	田中　賢一	石狩教育局　局長	来賓
	久末　考勇	社会教育指導班主査	
	小田島　美雪	社会教育主事	

石狩管内社会教育委員連絡協議会規約

（名称及び事務局）
第１条　この会は、石狩管内社会教育委員連絡協議会と称し、事務局を会長所在地市町村の教育委員会に置く。
（組織）
第２条　この会は、石狩管内市町村の社会教育委員及び社会教育に関する審議会等委員で組織する。
（目的）
第３条　この会は、石狩管内各市町村社会教育委員等が連絡協議を図り、石狩管内の社会教育の振興に寄与することを目的とする。
（事業）
第４条　この会は、第３条の目的達成のために次の事業を行う。
（１）会員資質の向上の研鑽
（２）管内的な社会教育事業の協力
（３）社会教育の調査研究
（４）社会教育相互の情報交換
（５）その他目的達成に必要な事項
（役員）
第５条　この会に次の役員を置く。
（１）会長　　１名
（２）副会長　　１名
（３）理事　　若干名
（４）監事　　２名
（役員の任務）
第６条　会長は、この会を代表し、会務を総括する。
２　副会長は、会長を補佐し、会長事故ある時は、これを代理する。
３　理事は、会務を分担する。
４　監事は、会計を監査する。
（役員の選任及び任期）
第７条　役員は、総会で選出する。
２　会長、副会長及び理事は、各市町村の委員を代表する者から選考する。
３　任期は２年とし、再任を妨げないものとする。ただし、補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。
（事務局員）
第８条　事務局長及び事務局員は、会長が委嘱する。
（総会及び役員会）
第９条　この会の会議は、総会及び役員会とする。
２　総会は、毎年１回会長が招集し、事務報告及び決算、事業計画及び予算、役員選出、規約改正その他重要事項について審議決定する。

３　役員会は、総会決定事項の執行及び緊急事項の処理に当たる。
４　会長は、必要に応じ、臨時総会を招集することができる。
（経理）
第 10 条　この会の経理は、会費、助成金、その他をもって充てる。
（会計）
第 11 条　本会の会計は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

附　則
本会の規約は、昭和 32 年 3 月 13 日から施行する。
附　則
本会の規約は、昭和 38 年 5 月 15 日から施行する。（一部改正）
附　則
本会の規約は、昭和 39 年 4 月 23 日から施行する。（一部改正）
附　則
本会の規約は、昭和 42 年 6 月 19 日から施行する。（一部改正）
附　則
本会の規約は、昭和 44 年 5 月 10 日から施行する。（一部改正）
附　則
本会の規約は、昭和 47 年 9 月 8 日から施行する。（一部改正）
附　則
本会の規約は、平成 12 年 4 月 21 日から施行する。（一部改正）
附　則
本会の規約は、平成 17 年 4 月 15 日から施行する。（一部改正）

フォーラム石狩に参加して

江別市社会教育委員　辻　麻紀

2年ぶりとなる参集型での研修会は、感染対策が十分に行われた中で開催されました。

パネルトークでは学校、家庭、地域の代表が「コロナ禍における子どもたちのコミュニケーションの現状とこれからの課題」をテーマにお話し下さいました。現状の課題として学校からはコロナ禍の状況に順応できず不登校が増加している、家庭からは家族間のコミュニケーションは深まったがマスク着用による子ども同士のコミュニケーションの課題や様々な活動へのやりがいが持てなくなっていること、地域からは学校への出入りができなくなり子どもたちの様子がわからなくなっていることが挙げられました。私も子どもたちの不登校が増加していることは耳にしており、コミュニケーション不足で友達が出来ない、学校に行ってもつまらないなど、小・中学生だけではなく高校生や大学生からもそのような話が出ています。現状の課題を解決していくには、学校として子どもたちの居場所づくりや安心して相談できる体制づくりを進めていくことや、多くの方々と連携をとりながら子どもたちと関わりを持てるような取り組みを行なうことを挙げていました。また、家庭として親同士のつながりの重要性を改めて感じたことや学校・地域と情報共有していくこと、地域として学校と関わることで関係性を構築することが大切だということでした。

コロナ禍の感染予防対策、ＩＣＴの活用、ＳＮＳ使用における啓発など様々な課題がある中で、子どもたちの健やかな育ちにとって重要なのは、生活リズム、人とのコミュニケーション、学校・家庭・地域の連携と協働だということでした。

その内容を受けそれぞれのテーブルで協議に入り、問題点や理想像、課題解決について話し合いました。問題点として子どもたちが抱えている課題は、学校に登校できなかった期間が長く友達が出来ない、コミュニケーションが取れない、勉強がわからないなどが挙げられました。またＩＣＴは便利ではあるが利用の弊害、ＳＮＳのトラブル、教職員の業務負担増や親の金銭負担などが挙げられました。理想像は学校・地域・家庭が連携し協働できる仕組みや取り組みがあれば良い、安心して子どもたちが生活できる環境を整えられていることが挙げられました。課題解決はコミュニケーションの土台作りを積極的に授業で取り入れていく、子どもの居場所づくり、学校・地域・家庭のつながりや信頼関係を構築していくなど、各々の情報を全体で共有していくことが重要であることも挙げられていました。

テーブルでの協議終了後には代表グループの発表があり、共通の課題認識を持つこと、「つながり」が大切、子どもたちが自己肯定感をあげていけるような周囲のサポート、コミュニケーションの重要性、大人が進んで取り組むことなどが挙げられました。

私は社会教育委員の立場としてこの課題にどのように関わっていけばよいのかを考えた時に、学校・家庭・地域が関係向上を図り、コロナ禍の中でも工夫しながら様々な学びの楽しさを体験できるように、またコミュニケーションの機会を増やすことを考えていくことだと思いました。

フォーラムに参加させていただき、有意義な時間とたくさんの学びを得られたことに感謝申し上げます。重ねて、参集での開催となりご準備いただきました皆様にも心より感謝申し上げます。

心を燃やせ

新篠津村生涯学習委員長　　佐藤　千佳

私たちは今，全世界的な感染症の蔓延する困難な時代にあります。現在の状況が生じる前の社会教育は、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」に携わり、社会教育と学校教育が豊かになることを目指して、社会教育委員、市町村職員、学校の先生、保護者の皆様と共に理想を追いかけて来ました。ところが、私たちは・・・郷土「北海道」で気づかぬうちに、感染を広げてしまいました。２０２０年2月２８日、北海道知事は「緊急事態」を宣言しました。そして、学校が休校になりました。

２０２１年１１月２０日、江別市にて「石狩フォーラム」が開催されました。テーマは「時代を生き抜く子どもたちを育てる学校、家庭、地域の連携・協働」です。パネルトークのテーマは、「コロナ渦における子どもたちの現状・これからの課題」でした。コロナ禍の学校と家庭の様子を各々の立場でトークし、それぞれの問題点をパネリスト達の討論で確信に迫りながら、参加者も理解し、旬な情報を全体で共有しました。江別市ＰＴＡ連合会会長粟野晋太郎様の「休校中は、子どもたちが大勢外で遊んでいるとの通報があり、地域の方も心に余裕がないのか、遊びを嫌がられた。」「放課後の遊びが減った。ゼロに近い。」というお話は、大きな衝撃を受けました。コロナ禍中で仕方が無いのかもしれませんが・・・あってはいけない事なのです。胸が痛みました。石狩管内社会教育委員連絡協議会会長高木玲子様の「私はいつも、おばあちゃんとして、子どもたちを見守っています。」「何でもタブレットに頼るのもよくないと思います。」純粋にハッキリと言える高木さんのような方は、子どもたちに時代を生き抜くパワーを送信できる人だと思いました。石狩管内小中学校教頭会玉腰武先生の「学校に馴染めない、どうしても教室に入ることが出来ない子どもたちが増えた。」「子どもを認める機会が少ない。自己肯定感が低下している。」というお話は、今の教育問題の根の深さと、先生方の悲壮感を感じとれました。

「さぁ！社会教育委員さん！出番ですよ！」いつも通学していたあの子どもは、なぜ見かけなくなったのでしょう？身近な学校の先生が困っていませんか？お知り合いのお母さん、お父さん・・・最近元気がありませんね。時代を生き抜く子どもたちを育てるために、私たちの方から参りましょうか。心をひとつにするために！そして、みんなで生き抜くために。心を燃やせ。